

特定非営利活動法人 石見銀山資料館



世界遺産の学びをとおして
共生社会の実現を
めざしています



団体の活動、セールスポイント

●世界遺産の中にある小さな博物館 ～住民のトラスト運動が出发点～

1976年に民間の博物館として開館して以来、半世紀にわたり石見銀山に関する調査研究や資料の保存・展示、教育普及活動をおこなってきました。

私たちは、「学び」が未来を創り出す原動力だと考えています。何を学ぶかが大切であり、その教材として石見銀山があります。その機会を提供する役割が当館にあるという信念のもと日々活動をおこなっています。



寄附を受けて取り組みたい事業 これまでに寄附を活用して実施 した事業

●石見銀山版 SDGs の実践

石見銀山資料館に加え新たに管理することになった大森町並み関連施設
・重要文化財 熊谷家住宅
・武家屋敷 旧河島家
・まなびの宿 宗岡家
当館を含めた4施設を拠点にし、SDGsの観点を取り入れた「石見銀山版 SDGsプログラム」の開発や実践に取り組んでいます。

写真：熊谷家でのかまど体験。



団体の目標

●「学びのバリアフリー」の実現 ～誰もが学べる環境づくり～

●「とどける博物館」の取り組み

容易に博物館に来ることができない方々にこちらから赴いてバーチャル（仮想）博物館をとどける。高齢者福祉施設や学校などで取り組みを進めている。



団体から寄附者へのPR

世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」は、平和や人権、自然環境、生物多様性などを考えるための優れた教科書であると考えています。

当法人では博物館の社会的使命として「教育の機会均等」の実現に向け「**学びのバリアフリー**」を提唱しています。国・地域・人種・民族・国籍・性別や障がいの有無に関係なく誰もが学びを受け取ることができて、味わい楽しむことができる環境づくりに取り組んでいます。

特定非営利活動法人 石見銀山資料館
理事長 仲野 義文
〒694-0305 島根県大田市大森町ハ 51 番地 1
tel 0854-89-0846
fax 0854-89-0159
mail info@igmuseum.jp
hp https://igmuseum.jp/